

2026年3月期 通期
決算説明会



**SERENDIP
HOLDINGS**

セレンディップ・ホールディングス株式会社

証券コード 7318

2026年5月26日



Index

1. 決算概要
2. Appendix

【2026年3月期】 連結業績サマリ

- 今期7月にM&Aしたサーテックカリヤの業績を第3四半期から取り込み、すべての項目で過去最高を更新
- **中計目標「セレンディップ・チャレンジ500」を1年前倒しで達成**
- **営業利益・経常利益は前年同期比で約3倍の大幅増益を達成**

<p>売上高  過去最高</p> <p>51,163百万円</p> <p>前年同期比 +103.6pt 前年同期 25,124百万円</p>	<p>営業利益  過去最高</p> <p>2,189百万円</p> <p>前年同期比 +198.1pt 前年同期 734百万円</p>	<p>経常利益  過去最高</p> <p>2,418百万円</p> <p>前年同期比 +229.0pt 前年同期 735百万円</p>
<p>親会社株主に帰属する 当期純利益  過去最高</p> <p>4,147百万円</p> <p>前年同期比 +98.6pt 前年同期 2,088百万円</p>	<p>調整後EBITDA※  過去最高</p> <p>4,572百万円</p> <p>前年同期比 +113.8pt 前年同期 2,138百万円</p>	<p>M&A実行件数(累計)</p> <p>1件</p> <p>前年実績 4件</p>

※調整後EBITDA:営業利益+のれん償却費+減価償却費+一過性の新規M&A関連費用

通期予測に対する進捗およびM&A関連費用を除いた実力値

- 通期予測は、予想どおり着地
- M&A関連費用を除く実力値において、利益率は1.1%改善

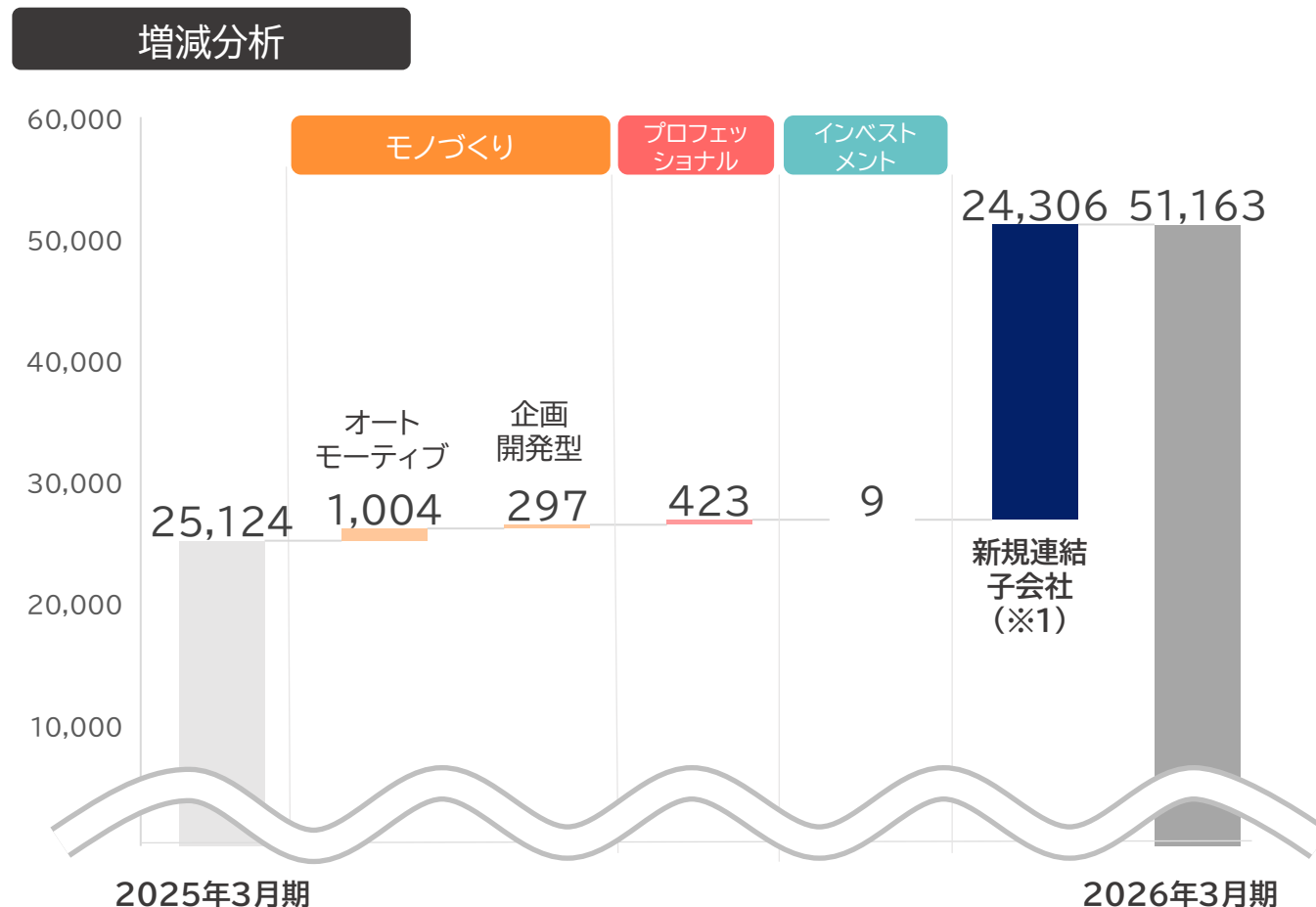
単位(百万円)	通期予測に対する達成率			M&A関連費用除く実力値			M&Aに伴う一過性費用		
	通期予測	実績	達成率	2025/3期	2026/3期	前年同期比	2025/3期	2026/3期	備考
売上高	50,000	51,163	102.3%	25,124	51,163	+103.6%			
調整後EBITDA		4,572							
営業利益	2,250	2,189	97.3%	964	2,484	+157.7%	-230	-295	M&A仲介・DD費用
(営業利益率)	(4.5%)	(4.3%)		(3.8%)	(4.9%)				
経常利益	2,180	2,418	110.9%	1,123	2,860	+154.7%	-158	-147	ファイナンス手数料等
当期純利益	3,900	4,147	106.3%	91	1,521	+1571.4%	2,385	3,068	負ののれん発生益

※「M&A関連費用除く実力値」の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益に、のれん償却費、取得関連費用を加算し、負ののれん発生益を減算して算定しております。

セグメント売上高の状況および連結売上高増減分析

- エクセルの通期寄与とサーテックカリヤの半期寄与により、オートモーティブサプライヤー事業が大きく伸長
- 既存事業のオーガニック成長も堅調に推移

(単位:百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比
モノづくり事業	23,430	49,052	+109.4%
オートモーティブサプライヤー	19,584	44,905	+129.3%
ユニクレア(佐藤工業×イワキ)	6,438	11,250	+74.7%
三井屋工業	10,440	11,181	+7.1%
エクセル・グループ	2,704	11,948	+341.9%
サーテックカリヤ	—	10,525	—
企画開発型モノづくり	3,870	4,210	+8.8%
天竜精機	942	1,157	+22.8%
アパックス(アパックス×トライシス)	2,439	2,352	-3.6%
レディーバード	488	700	+43.4%
プロフェッショナル・ソリューション事業	2,154	2,772	+28.7%
セレンディップ・ホールディングス	1,294	1,660	+28.3%
セレンディップ・テクノロジーズ	897	974	+8.6%
セレンディップ・ロボクロス	118	354	+200.0%
インベストメント事業	191	146	-23.7%
セレンディップ・フィナンシャルサービス	191	146	-23.6%



※個別業績については内部売上高又は振替高を含んでいるため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。
 ※2025年3月期に実施した新規M&A(イワキ、エクセル・グループ、トライシス)の業績は、同4Qより連結に取り込んでおります。
 ※イワキは2025年4月に佐藤工業(現ユニクレア)と合併、トライシスは2025年10月にアパックスと合併しておりますが、2025年3月期の業績もそれぞれ統合した数字で表示しております。

※1 新規連結子会社は、イワキ・トライシス・エクセル・グループ・サーテックカリヤを指します。

連結貸借対照表サマリ

- サーテックカリヤのB/Sを2Qより取り込み、資産・負債は拡大
- 純資産は継続的に増加し、自己資本比率も利益の積み上げにより改善

(単位:百万円)	2025年3月期末	2026年3月期		前年同期比
		3Q	4Q	
総資産	32,241	59,594	57,655	+25,413
流動資産	16,193	31,383	28,824	+12,630
固定資産	16,047	28,210	28,831	+12,783
負債	24,109	43,836	40,592	+16,482
流動負債	13,099	26,878	24,761	+11,662
固定負債	11,010	16,958	15,830	+4,820
純資産	8,132	15,757	17,063	+8,931
(内、自己資本)	(7,989)	(12,530)	(13,486)	(+5,497)
自己資本比率	24.8%	21.0%	2.4pt増 → 23.4%	-1.4pt

【2027年3月期】 通期業績予想






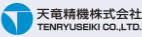




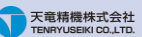




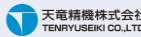

- 前期にグループインしたサーテックカリヤが通期業績に寄与することで、「モノづくり事業」を中心に非連続的な増収・増益を見込む
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期にM&Aに伴う負ののれん発生益(3,069百万円)を特別利益として計上したため減益となるが、22億円を確保

(単位:百万円)	2027年3月期 予想	2026年3月期 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	64,000	51,163	12,837	+25.1%
調整後EBITDA	6,000	4,572	1,428	+31.2%
営業利益	3,500	2,189	1,311	+59.8%
(営業利益率)	(5.4%)	(4.3%)	-	-
経常利益	3,300	2,418	882	+36.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,200	4,147	-1,947	-47.0%

中東情勢(イラン情勢)に関する当社グループへの影響と対応

- グループ全体への影響は一部に限定され、**全体業績への影響は軽微**と見込む
- グループ全体でのリスクの早期共有を実施し、投資・費用の優先順位付けを通じて、迅速な意思決定と影響抑制を図っている

■現時点における主な影響

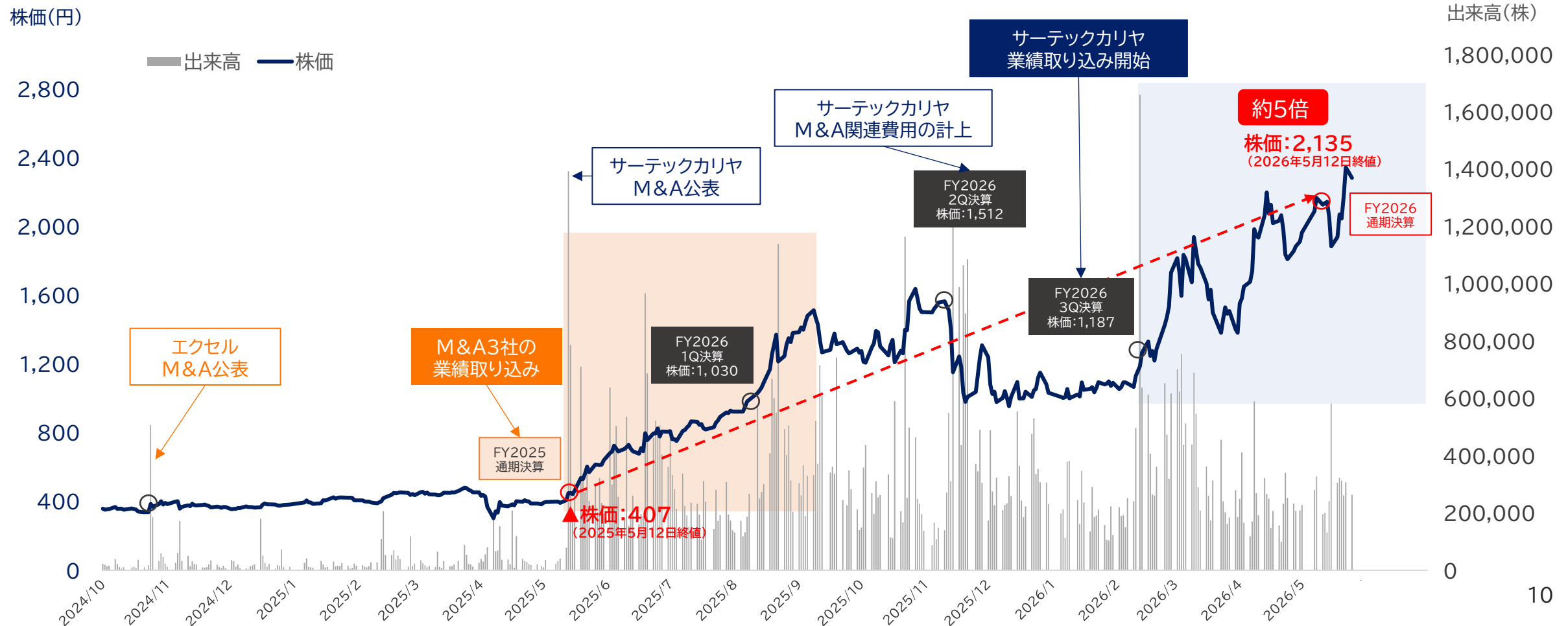
カテゴリ	具体的影響内容	影響度	該当・注視会社
調達・生産 	現時点で操業への重大な支障は発生していないが一部資材(重油・薬品等)で供給制約・調達不確実性が存在	↑	  
地政学・物流 	現時点で物流への大きな影響は顕在化していないが一部地域で輸送コスト・納期の不安定要因が存在		   
為替・コスト 	現時点で業績影響は限定的であるが原油・ナフサ価格上昇を背景にコスト上昇圧力が継続		   
販売・需要 	顧客の生産・需要面への影響は現時点で限定的		 

対策

✓在庫確保 ✓代替調達 ✓価格転嫁

業績成長が株価に着実に反映

- M&Aによる業績取り込みの進展に伴い、株価は着実に上昇



※本資料の株価推移は、2025年10月21日に発表した株式分割を反映し、過去分も分割後基準で換算しています。

企業価値向上に向けた成長ステージの進化

- 三段階の成長ステージへ移行し、企業価値の非連続的な拡大を目指す
- 株主総会にて新中期経営計画を発表し、説明会を開催予定

Stage1

2026.06.25発表



新・中期経営計画 発表

「セレンディップチャレンジ500→1000」

現在地から大きく飛躍するための助走期間であり、今後の圧倒的な成長確度を市場や投資家に明確に示すフェーズ

Stage2

FY2028(予定)



東証プライム市場への移行を視野に入れ、資本政策を含めた検討を進める

「資本効率と流動性の最大化」

急成長の重要段階に入り、企業としての格が上がることで国内外の機関投資家が本格的に参入する重要な転換点

Stage3

FY2028(予定)



IFRS(国際財務報告基準)移行を検討

「世界と対話する共通言語の確立」

新たな評価の土台として、財務透明性を極限まで高め、世界中の投資資金を呼び込むための強固なインフラ整備を完了させる

新・中期経営計画 説明会開催のお知らせ

日 時:2026年6月25日(木) 11:00～(質疑応答あり)

※第21回定時株主総会終了後に開催

形 式:会場／オンライン(Zoomウェビナー)

会 場:栄ガスビル5階 栄ガスホール(名古屋市中区栄三丁目15番33号)

申込締切:2026年6月17日(水)18:00まで

参加方法:以下URLまたはQRコードより事前登録をお願いいたします

U R L:

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_DSyZhOZrRMiLGEmB826d4w



SNS公式アカウントのご紹介

X(旧Twitter)、YouTube、noteを中心に、タイムリーで分かりやすい情報発信を強化しています。



アカウントID: @SERENDIP_HD

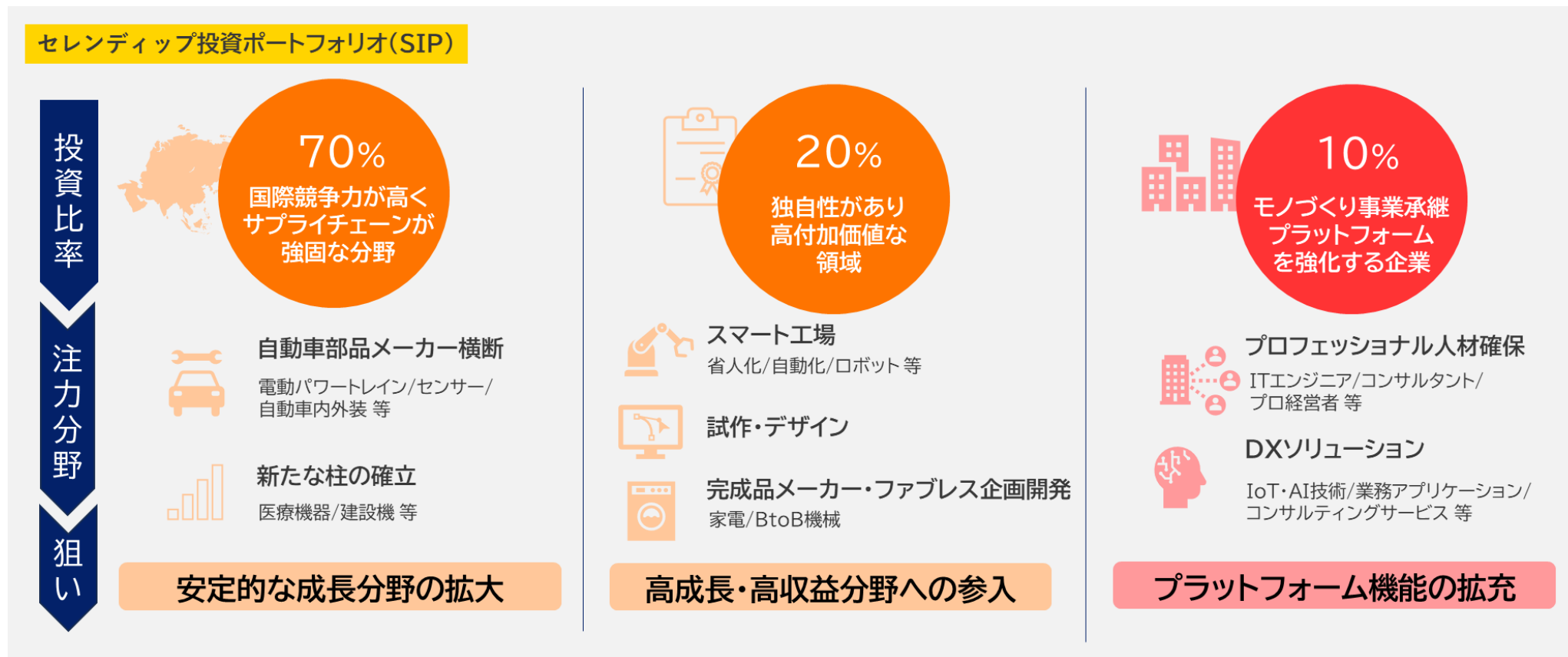


Index

1. 決算概要
2. Appendix

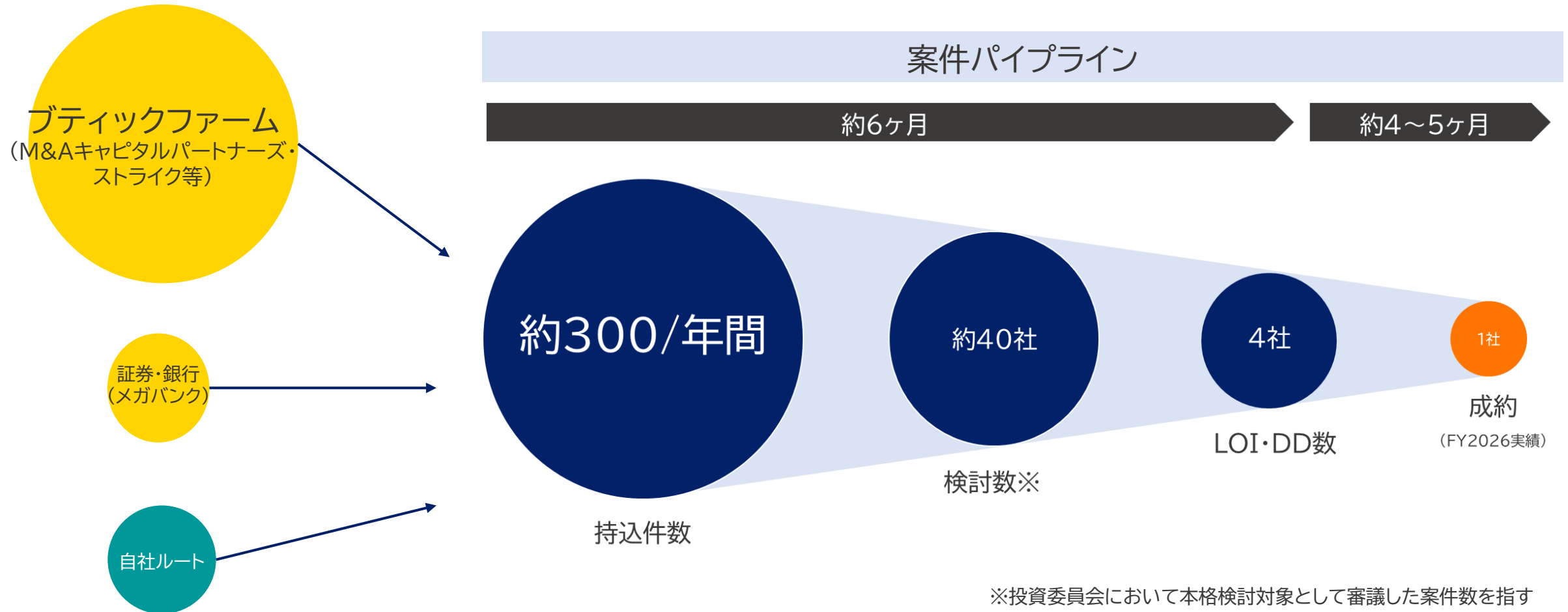
M&A基本方針 | セレンディップ投資ポートフォリオ(SIP)

- 安定的な収益獲得分野と、変動性は高いが成長率・利益率の高い分野へ、SIPに従って継続して投資実行
- 成長のためのR&D・設備投資を織り込んだ適切なバリュエーションに基づく投資判断によりM&Aを実行



M&A案件数の推移

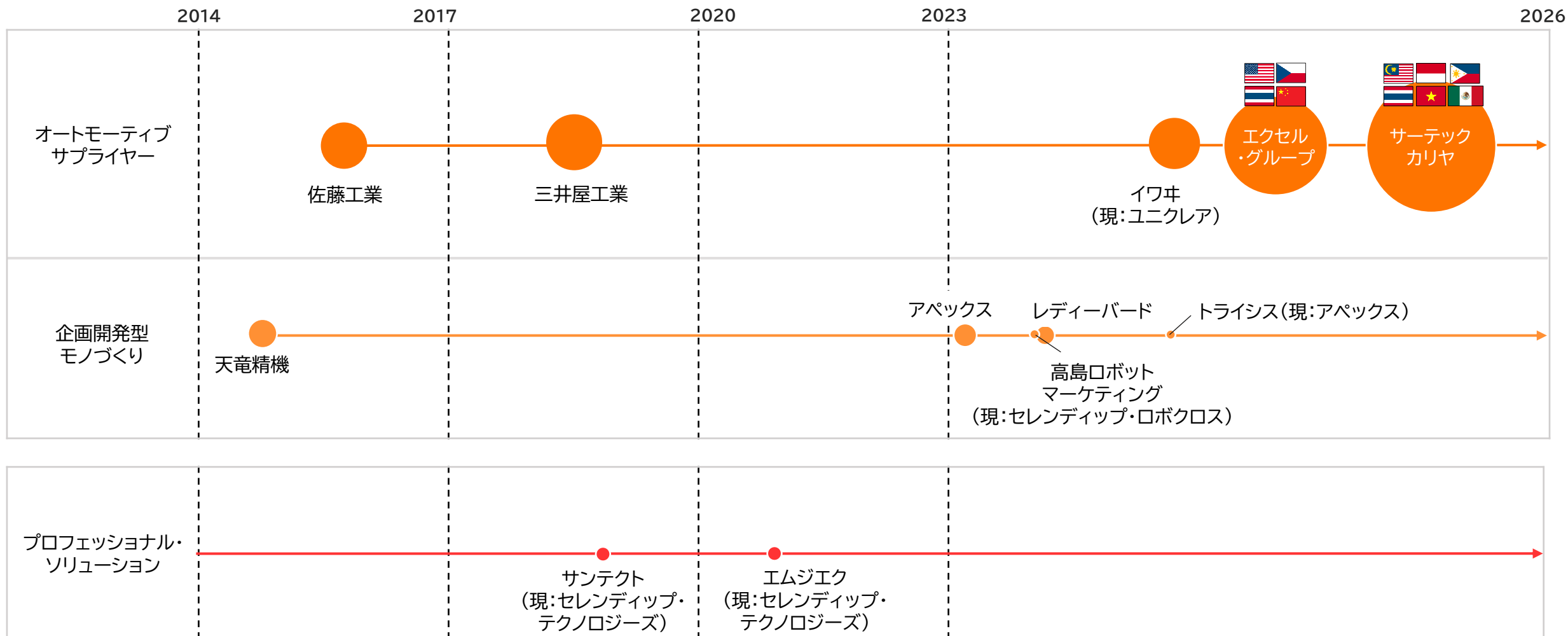
- 潤沢な案件パイプラインを基盤に、常時複数案件を並行検討することで、継続的なM&A実行を可能とする体制を構築



※投資委員会において本格検討対象として審議した案件数を指す

これまでのM&A実績

- 年2～3件のM&Aが目標。最近ではM&Aの大型化が進み、グローバル化も加速



※円の大きさは、買収額をイメージ。

M&A資金調達方法

- 複数のM&Aファイナンススキームの組み合わせにより、**自己資金の流出を最小化**
- 株価の希薄化を抑えるため、エクイティファイナンスの実施を劣後

投資資源の調達方針

CMS(キャッシュ・マネジメント・システム)

- グループ内現預金を効率活用し**投資資金余力を創出**



有利子負債 + 自己株式活用

- 銀行借入・メザニン・自己株式活用を組み合わせ、M&A投資の必要資金に対応する柔軟な資金戦略



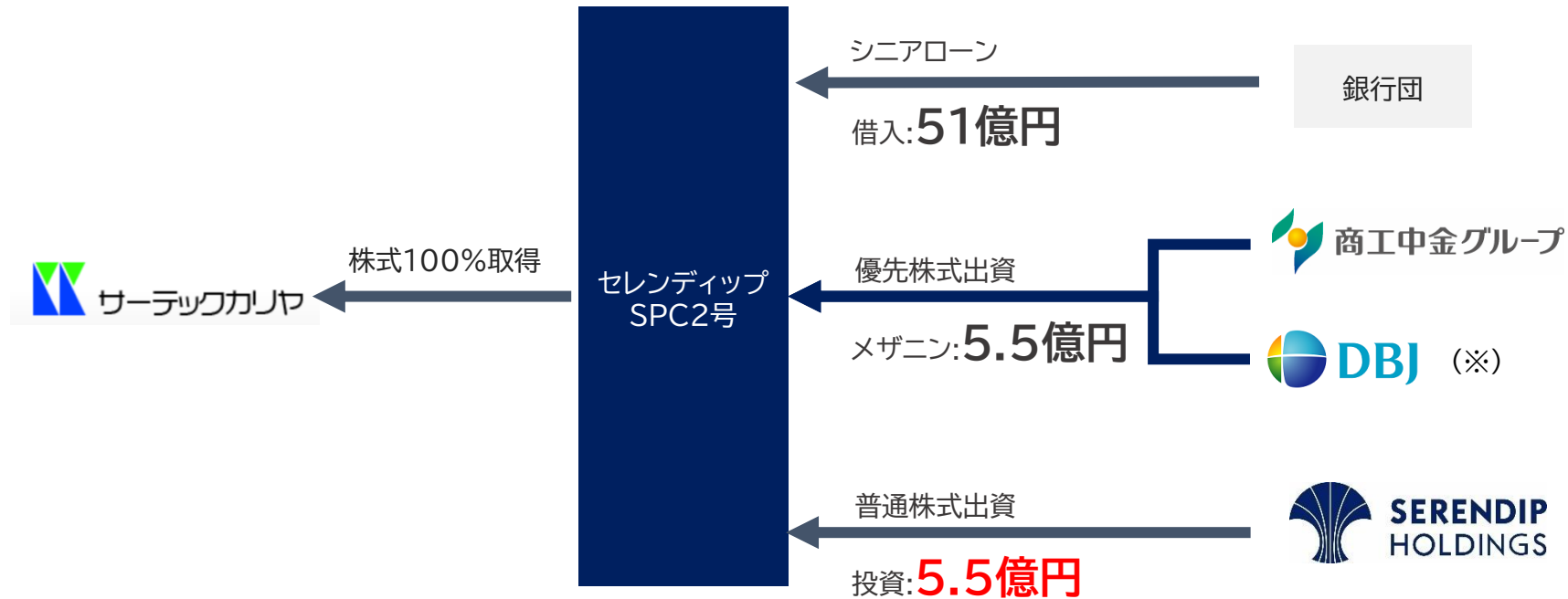
エクイティ

- 株価水準や市場動向、財務状況を踏まえ、投資によるEPS向上を前提に、資本調達も含めた最適な選択肢を検討

サーテックカリヤの事例 | メザニン出資を通じて、財務健全性を確保しつつ柔軟な資金調達を実現

- 国からの一部出資(産投出資)を活用したメザニンファイナンスを実施

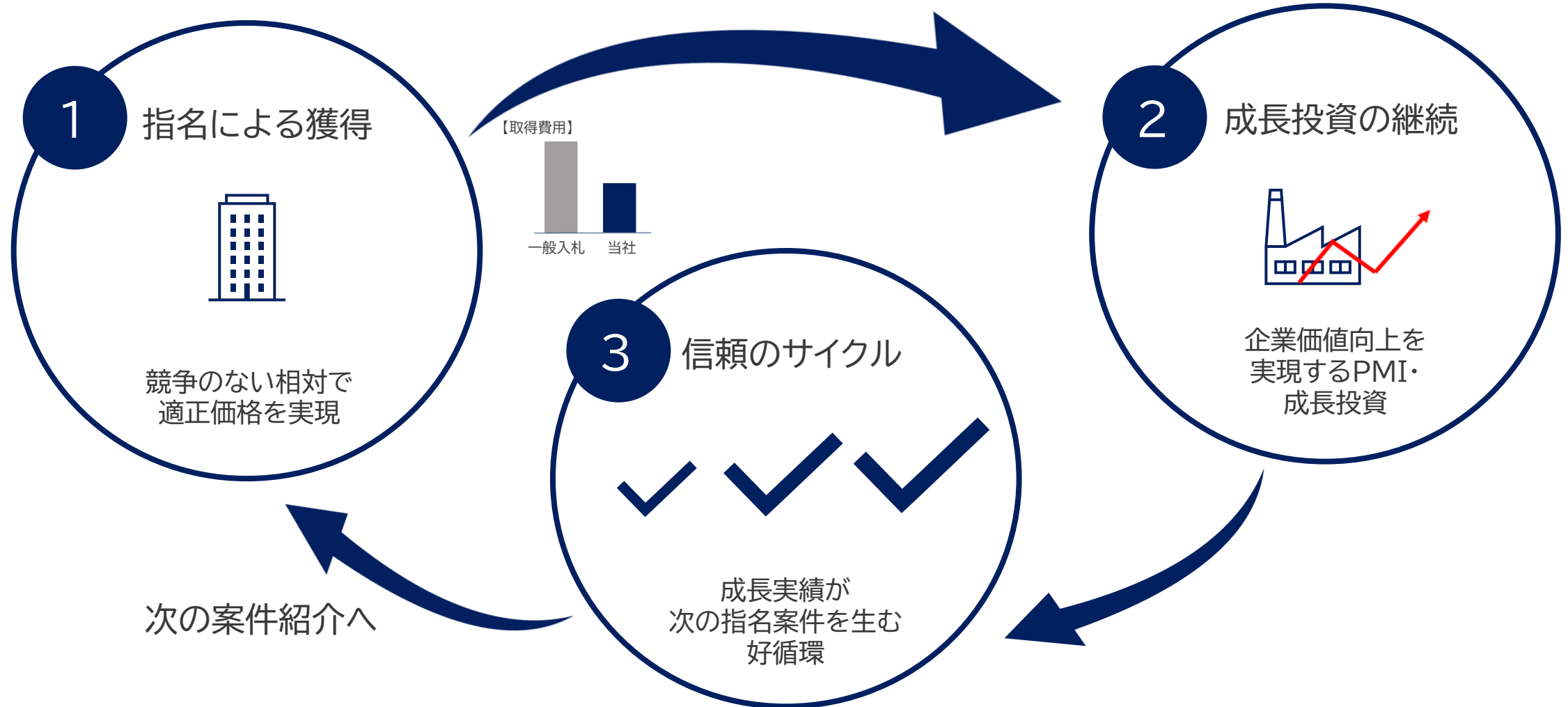
《ファイナンススキーム図》



(※)株式会社日本政策投資銀行(DBJ)からの出資に関しては、特定投資業務(民間による成長資金の供給の促進並びに地域経済の活性化及び我が国企業の競争力の強化を図るため、国からの一部出資(産投出資)を活用して、成長資金を時限的・集中的に供給する業務)が活用されております。

当社が選ばれる理由 | 未来を託せる相手として選ばれる

- 経営に踏み込むPMIと積極的な成長投資により、企業価値を高めてきた実績が、売り手からの信頼を獲得
- 成長を踏まえた適正価格での相対取引が実現



成長する世界市場への拡販を実現するため、インドJV設立

再掲



51% 持株比率 49%

MINT Mobility Works India Pvt.Ltd(仮)の設立
 インド国内における自動車用内装・外装部品の開発・販売を目的とする
 合弁会社の設立

海外マーケットへの本格的な進出を図る



中期経営計画の達成

海外の拠点を狙って攻める	
ASEAN	タイを中心に、アジアの一大生産拠点を狙う 達成
北米	世界最大の市場である米国への進出 達成
インド	人口増、自動車販売拡大中のインドへの進出 達成

営業活動と受注拡大・競争力強化

インド市場での製造会社の発展を目指す

グループ会社別の業績推移

■売上高

		(単位:百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
連結	FY2025		4,804	4,991	5,662	9,666	25,124
	FY2026		9,345	9,945	16,047	15,825	51,163
	(YoY)		(+4,540)	(+4,953)	(+10,385)	(+6,159)	(+26,039)
オートモーティブサプライヤー							
ユニクレア(佐藤工業×イワホ)	FY2025		1,268	1,223	1,243	2,702	6,438
	FY2026		2,683	2,907	2,793	2,865	11,250
	(YoY)		(+1,415)	(+1,684)	(+1,550)	(+162)	(+4,811)
三井屋工業	FY2025		2,318	2,596	2,795	2,729	10,440
	FY2026		2,552	2,706	2,976	2,945	11,181
	(YoY)		(+233)	(+110)	(+180)	(+215)	(+740)
エクセル・グループ	FY2025		-	-	-	2,704	2,704
	FY2026		2,825	2,906	3,046	3,170	11,948
	(YoY)		-	-	-	(+465)	(+9,243)
サーテックカリヤ	FY2025		-	-	-	-	-
	FY2026		-	-	5,638	4,886	10,525
	(YoY)		-	-	-	-	-
企画開発型モノづくり							
天竜精機	FY2025		233	194	304	209	942
	FY2026		254	191	258	452	1,157
	(YoY)		(+21)	(▲2)	(▲46)	(+242)	(+214)
アベックス (アベックス×トライシス)	FY2025		474	512	789	662	2,439
	FY2026		488	630	633	599	2,352
	(YoY)		(+14)	(+117)	(▲155)	(▲63)	(▲87)
レディーバード	FY2025		147	121	121	98	488
	FY2026		107	100	172	321	700
	(YoY)		(▲39)	(▲21)	(+50)	(+222)	(+212)
プロフェッショナル・ソリューション事業							
セレンディップ・ホールディングス	FY2025		284	251	293	464	1,294
	FY2026		358	459	419	423	1,660
	(YoY)		(+73)	(+207)	(+125)	(▲40)	(+365)
セレンディップ・テクノロジーズ	FY2025		224	216	225	231	897
	FY2026		228	231	259	254	974
	(YoY)		(+4)	(+15)	(+33)	(+23)	(+76)
セレンディップ・ロボクロス	FY2025		-	11	10	96	118
	FY2026		10	81	72	189	354
	(YoY)		-	(+70)	(+62)	(+93)	(+236)
インベストメント事業							
セレンディップ・フィナンシャルサービス	FY2025		55	39	82	13	191
	FY2026		57	56	19	12	146
	(YoY)		-	(+17)	(▲63)	(▲1)	(▲45)

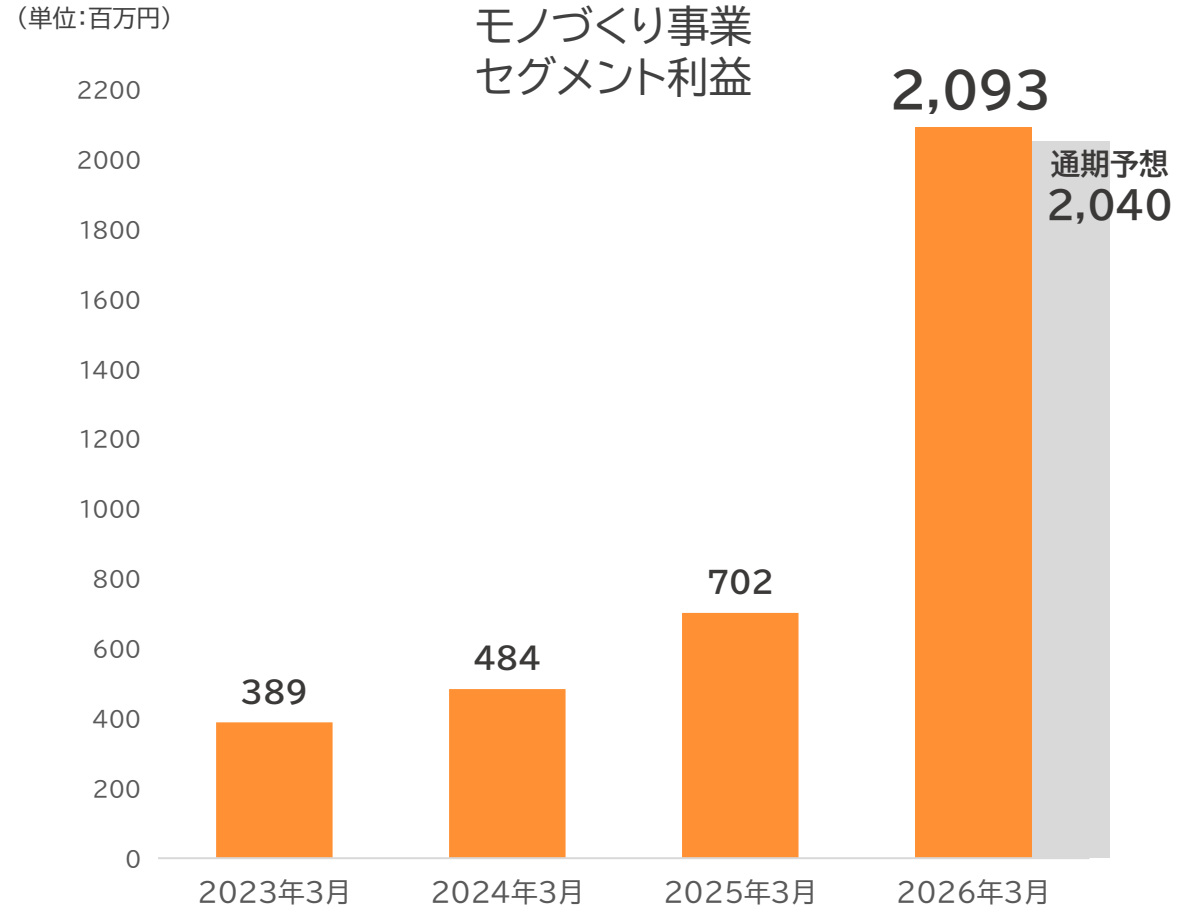
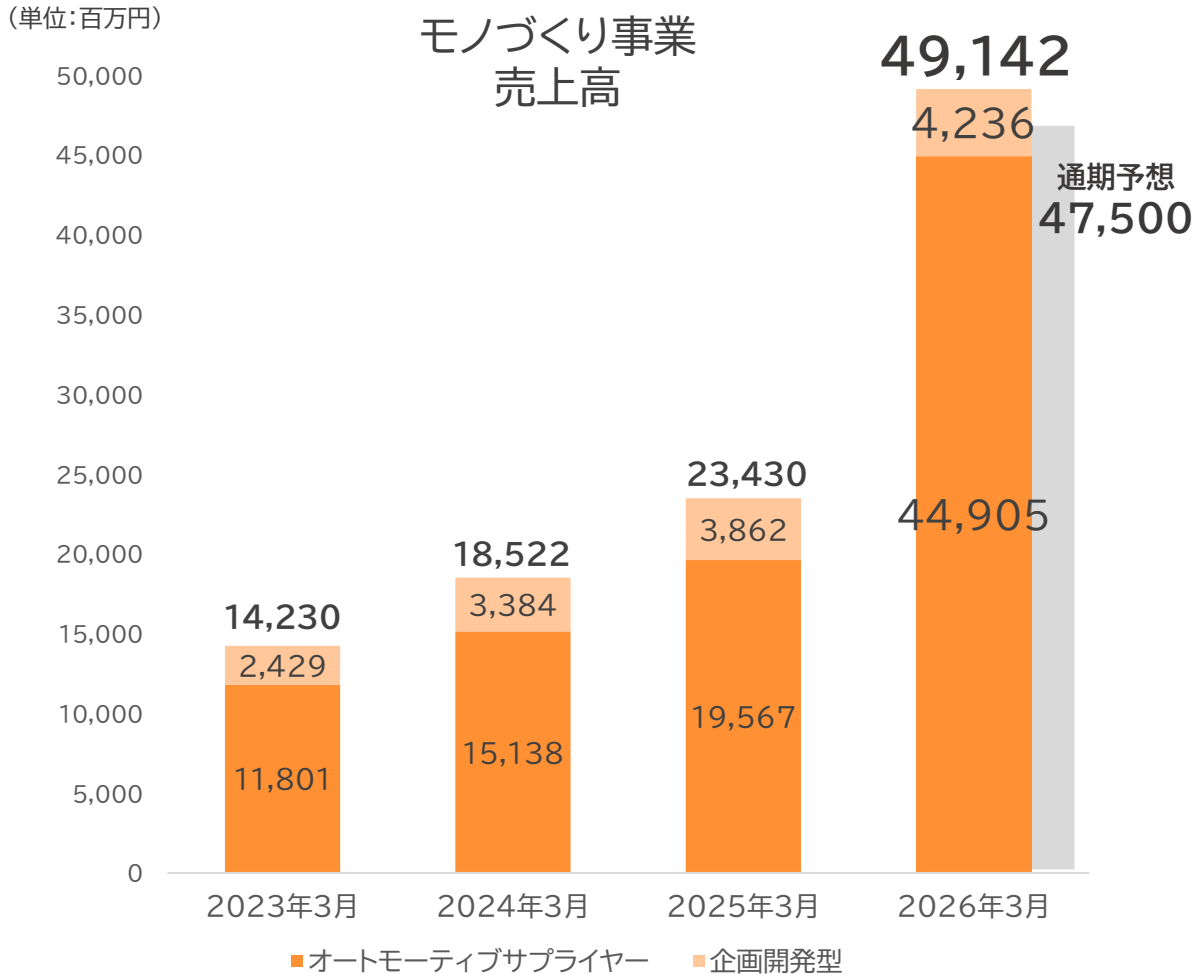
※イワホは2025年4月に佐藤工業(現ユニクレア)と合併、トライシスは2025年10月にアベックスと合併しておりますが、2025年3月期の業績もそれぞれ統合した数字で表示しております。

■営業利益

		(単位:百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
連結	FY2025		144	147	196	245	734
	FY2026		529	170	941	549	2,189
	(YoY)		(+385)	(+22)	(+744)	(+303)	(+1,455)
オートモーティブサプライヤー							
ユニクレア(佐藤工業×イワホ)	FY2025		▲4	▲1	14	14	22
	FY2026		31	35	54	47	169
	(YoY)		(+35)	(+37)	(+40)	(+33)	(+147)
三井屋工業	FY2025		83	166	181	96	527
	FY2026		138	159	173	150	621
	(YoY)		(+54)	(▲6)	(▲8)	(+53)	(+93)
エクセル・グループ	FY2025		-	-	▲106	143	37
	FY2026		307	199	351	51	909
	(YoY)		-	-	-	(▲92)	(+872)
サーテックカリヤ	FY2025		-	-	-	-	-
	FY2026		-	▲263	272	180	189
	(YoY)		-	-	-	-	-
企画開発型モノづくり							
天竜精機	FY2025		▲43	▲56	▲38	▲80	▲218
	FY2026		▲17	▲85	4	26	▲73
	(YoY)		(+25)	(▲29)	(+42)	(+106)	(+145)
アベックス (アベックス×トライシス)	FY2025		80	75	197	103	456
	FY2026		64	76	68	72	281
	(YoY)		(▲16)	(+1)	(▲128)	(▲31)	(▲175)
レディーバード	FY2025		41	18	▲1	▲13	43
	FY2026		▲2	▲3	3	18	15
	(YoY)		(▲43)	(▲21)	(+4)	(+32)	(▲28)
プロフェッショナル・ソリューション事業							
セレンディップ・ホールディングス	FY2025		2	▲26	12	18	7
	FY2026		1	65	1	▲25	42
	(YoY)		(▲1)	(+91)	(▲11)	(▲44)	(+35)
セレンディップ・テクノロジーズ	FY2025		16	4	3	13	38
	FY2026		8	0	30	17	56
	(YoY)		(▲8)	(▲4)	(+26)	(+3)	(+17)
セレンディップ・ロボクロス	FY2025		-	▲3	▲2	18	12
	FY2026		▲7	2	8	40	43
	(YoY)		-	(+6)	(+10)	(+21)	(+30)
インベストメント事業							
セレンディップ・フィナンシャルサービス	FY2025		15	▲2	39	▲28	23
	FY2026		14	▲7	▲16	▲18	▲27
	(YoY)		(0)	(▲4)	(▲55)	(+10)	(▲50)

【モノづくり事業】業績推移と進捗状況 ※通期予想は、通期業績予想修正時

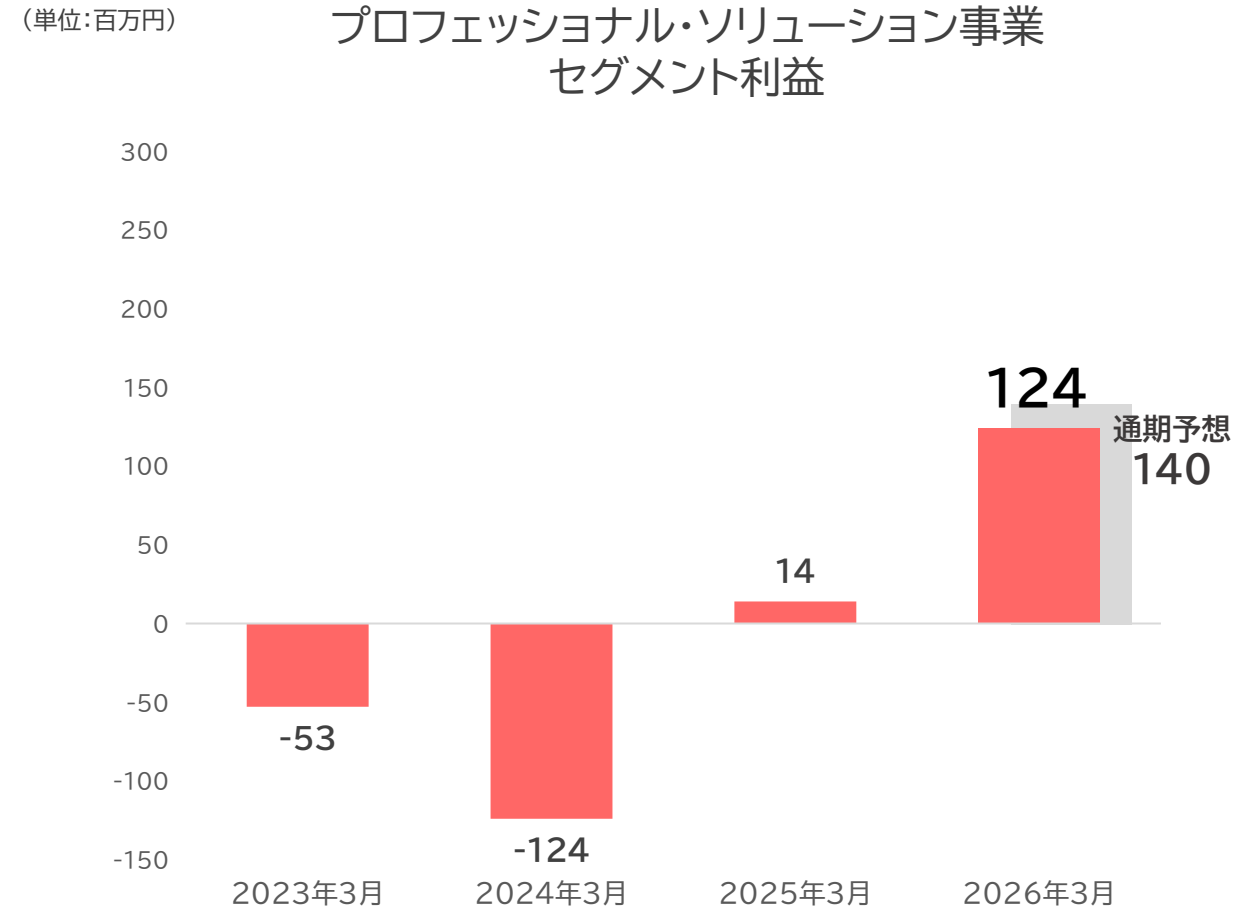
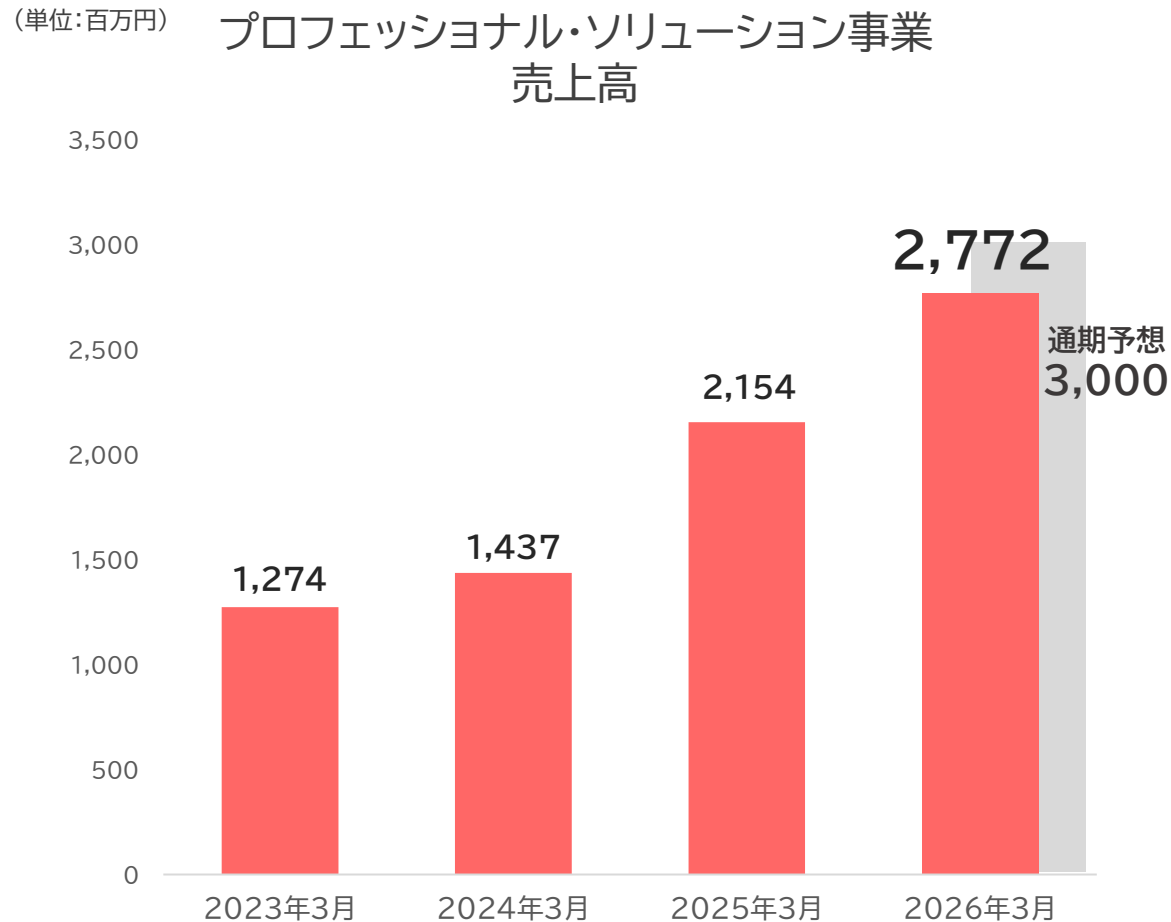
- 通期予測を大幅に上回る着地、モノづくり事業が成長を牽引
- 米国通商政策の影響が残るも、米国向け輸出の持ち直しにより国内生産は高水準で推移



(注)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

【プロフェッショナル・ソリューション事業】 業績推移と進捗状況 ※通期予想は、通期業績予想修正時

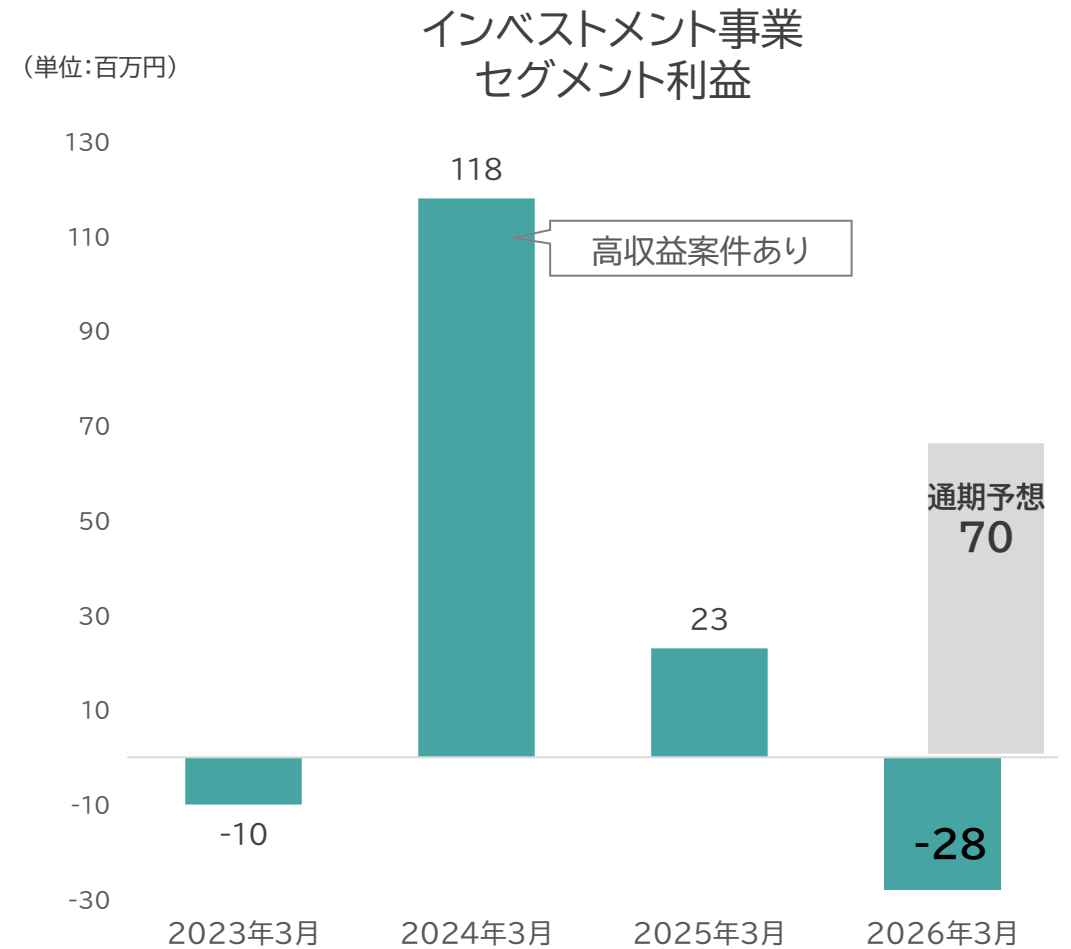
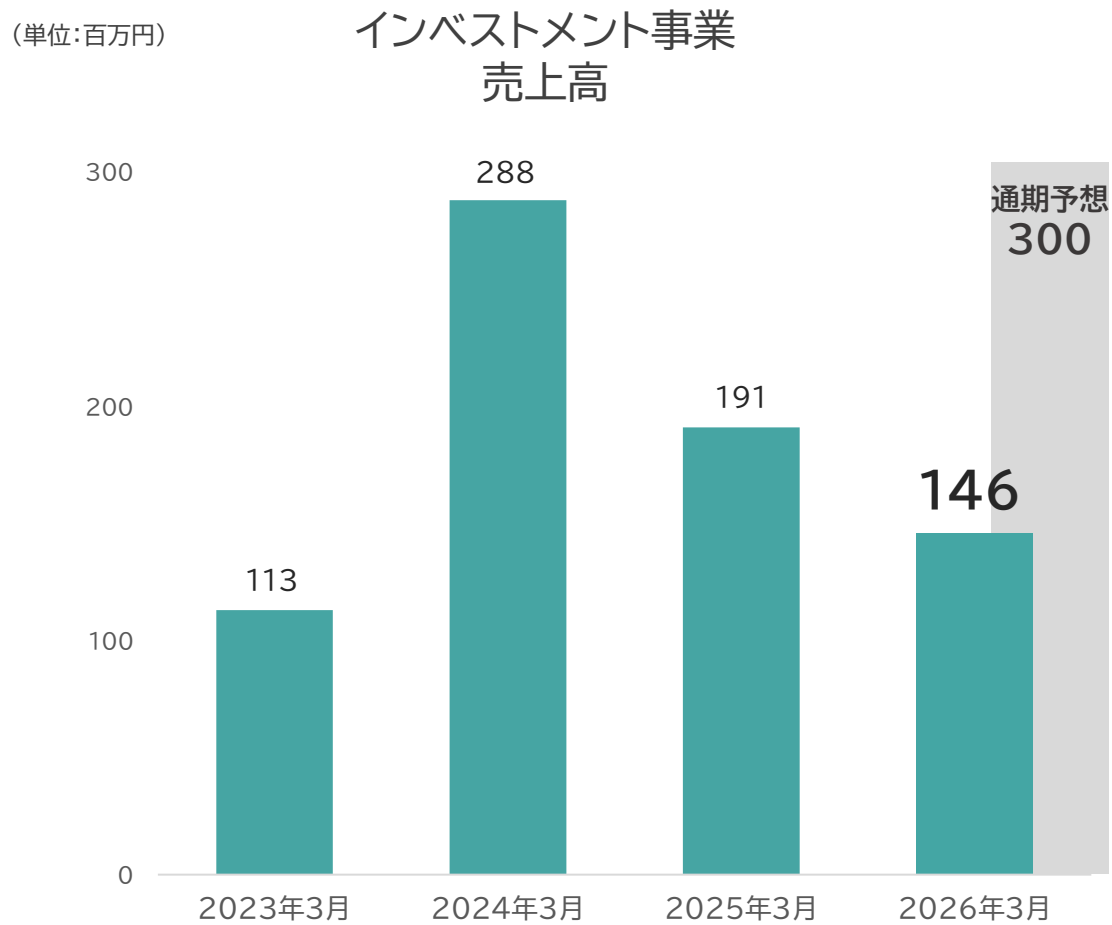
- 基幹システム再構築需要を背景に、ITコンサルティングが伸長し増収増益
- RX(ロボット・トランスフォーメーション)は、受注は順調に積み上がり、収益化に貢献



(注)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

【インベストメント事業】 業績推移と進捗状況 ※通期予想は、通期業績予想修正時

- 案件のスリップあり



【2027年3月期】 主なセグメント別 売上高予想および利益予想

(単位:百万円)	セグメント売上高				セグメント利益			
	2027年3月期 予想	2026年3月期 実績	増減額	増減率 (%)	2027年3月期 予想	2026年3月期 実績	増減額	増減率 (%)
モノづくり事業	61,000	49,142	11,858	+24.1%	3,340	2,093	1,240	+59.5%
プロフェッショナル ・ソリューション事業	2,850	2,772	78	+28.1%	160	124	36	+29.0%

(注)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

会社概要



社名	セレンディップ・ホールディングス株式会社 SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd.
代表者	代表取締役社長兼CEO 竹内在
本社所在地	愛知県名古屋市中区錦一丁目5番11号 名古屋伊藤忠ビル
設立	2006年8月
資本金	11億6461万円(2026年3月末現在)
株式公開市場	東京証券取引所 グロース市場 証券コード:7318
従業員数 <small>(正社員・契約社員・パート)</small>	単体 67名(2026年3月末現在) グループ全体 3,667名(2026年3月末現在)
決算月	3月

代表者の紹介



代表取締役社長兼CEO
竹内 在 | Ari Takeuchi

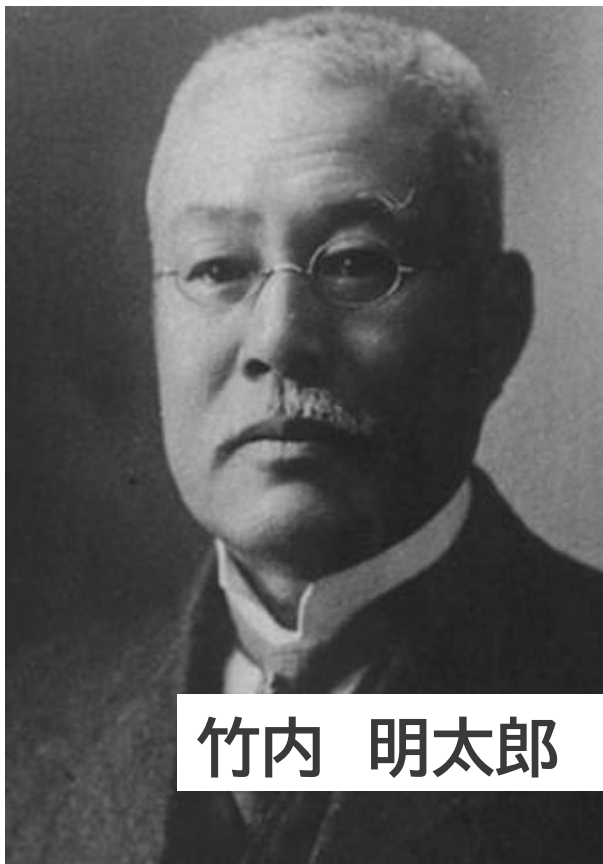
幼少期より、曾祖父である竹内明太郎(コマツ創業者)の影響を受け、経営者としての道を志す。

- 1994年 ニフティ株式会社
- 1999年 株式会社東海総合研究所
(現 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)
- 2001年 SAPジャパン株式会社
- 2006年 日本オラクル株式会社
- 2011年 株式会社シンプレクス・コンサルティング
(現 シンプレクス株式会社)
- 2014年 当社代表取締役社長
- 2023年 当社代表取締役社長兼CEO

当社のMission

事業承継型M&Aにより
日本の中堅・中小製造業を世界に誇れる100年企業へ

曾祖父から学んだ哲学から事業承継型M&Aへ



竹内 明太郎

富国工業基

『良品に国境なし
工業こそ富国の基』

1. 経営合理化と近代化

26歳の時に父から、芳谷(よしのたに)炭鉱の経営を一任。
徹底した技術革新と合理化を行い、極力内製化しコストダウンを図った。
当時の最新技術を導入し、近代的生産体制の確立した。

2. 経営多角化・M&A

鉱業・炭鉱だけでなく、鋳造、鍛造、金型など周辺事業も手掛けた。その次は機械工業への進出。
その一つが唐津鉄工所。工作機械の開発製造を手掛ける。
もう一つが鉱山用機械製作の**小松鉄工所**。全国の炭坑や鉱山を次々と**買収し、事業拡大を図った**。
快進社(DUTSUN)へ出資し、**日本の自動車業界の幕開けを作った**。

3. 海外・研究開発

欧州で鉱山、機械、造船等の視察と、当時開催中のパリ万博をも視察し、そこで技術の遅れを痛感した。
帰国後、多くの事業を立ち上げ、機械など国産化を行う。

4. 地方創生

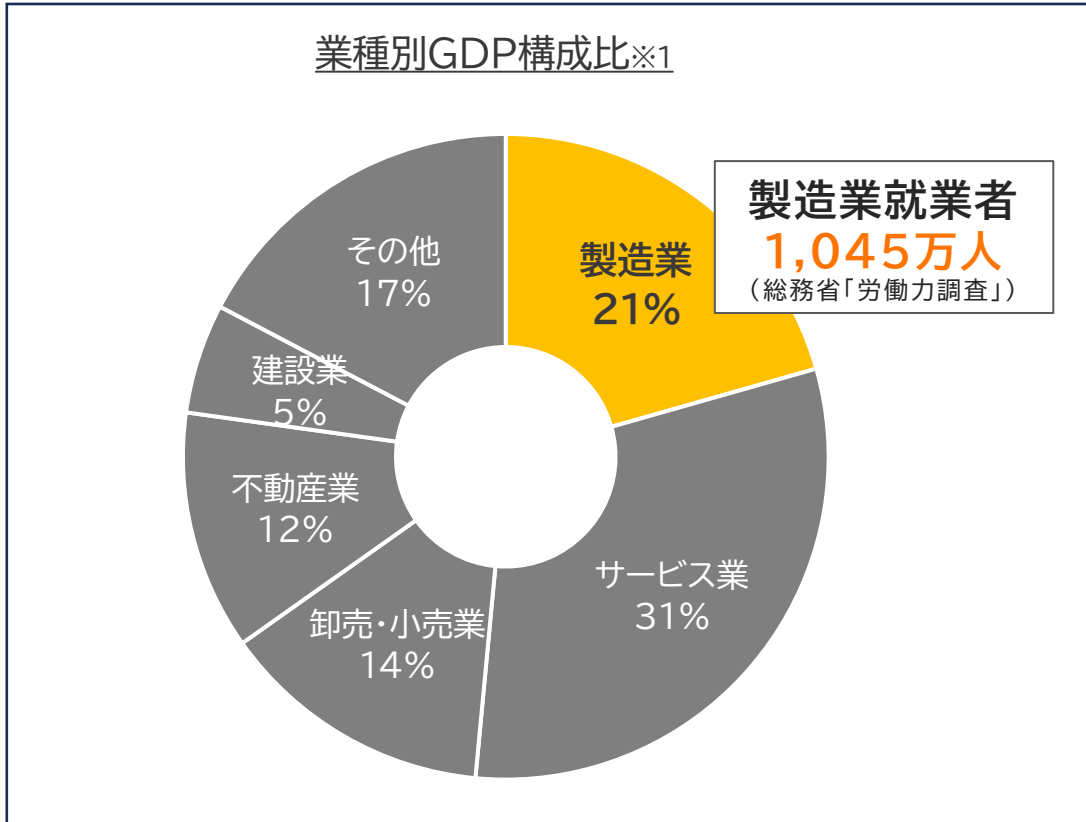
唐津、小松鉄工所にしても創設地から動かなかった。その理由として、
1. その地方に受けた恩に報いる、2. 移転すると地方の衰退につながる、3. 地方は実直な若者が多い、4. 国家的見地より、工業の地方分散がよい、5. 良品に国境なし、造る場所は問題にはならない

5. 教育・人づくり

「人創りこそ企業の礎、また国を興す礎でもある」高知工業高校、早稲田大学理工学部へヒト、モノ、カネを寄贈

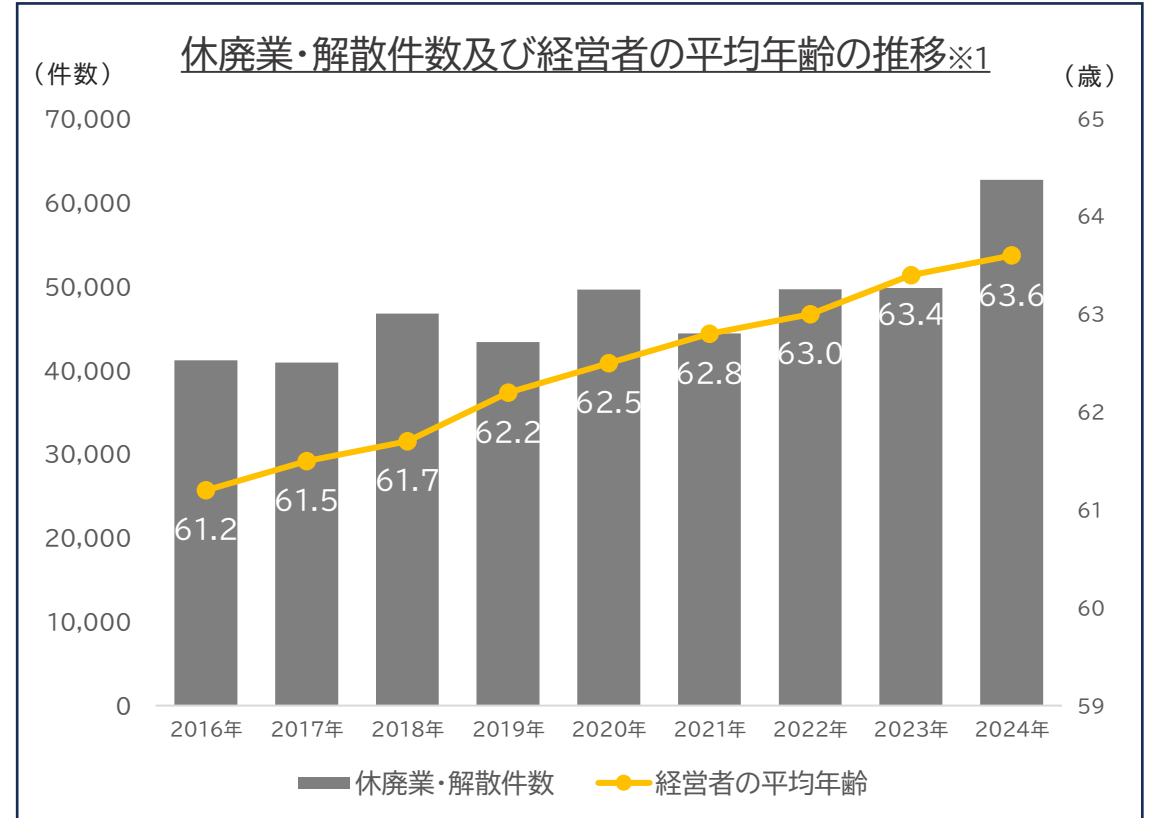
日本の中堅・中小製造業の危機

1. 製造業は、日本のGDPの約2割を占め1,045万人が就業する、日本経済を支える中心的な産業
2. 経営者の高齢化、後継者不在により「休廃業・解散」を選択する件数が増加傾向



※1 内閣府「2021年度(令和3年度)国民経済計算年次推計」より当社作成

依然重要な日本の製造業

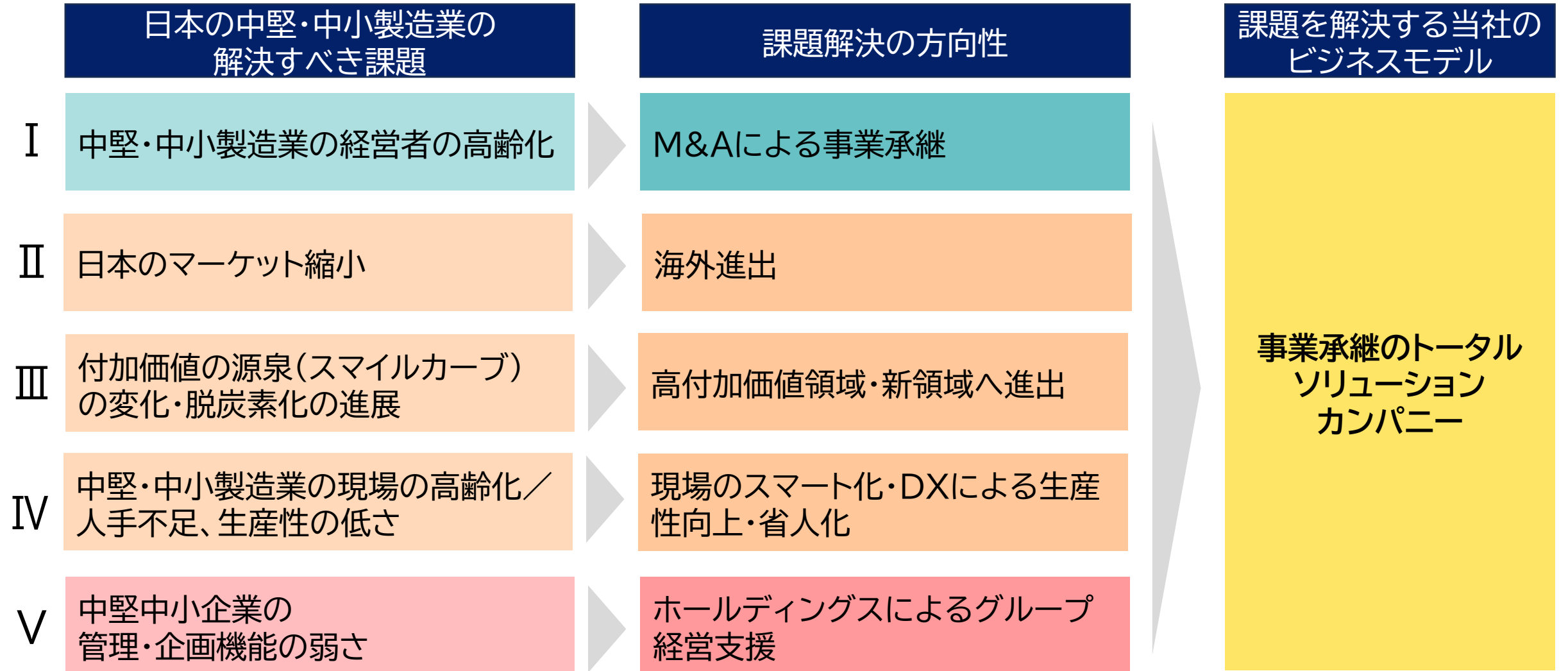


※1 (株)東京商工リサーチ「休廃業・解散企業」動向調査、「全国社長の年齢調査」(2024年)

事業承継M&Aへの圧倒的需要

解決すべき5つの課題と課題を解決する当社のビジネスモデル

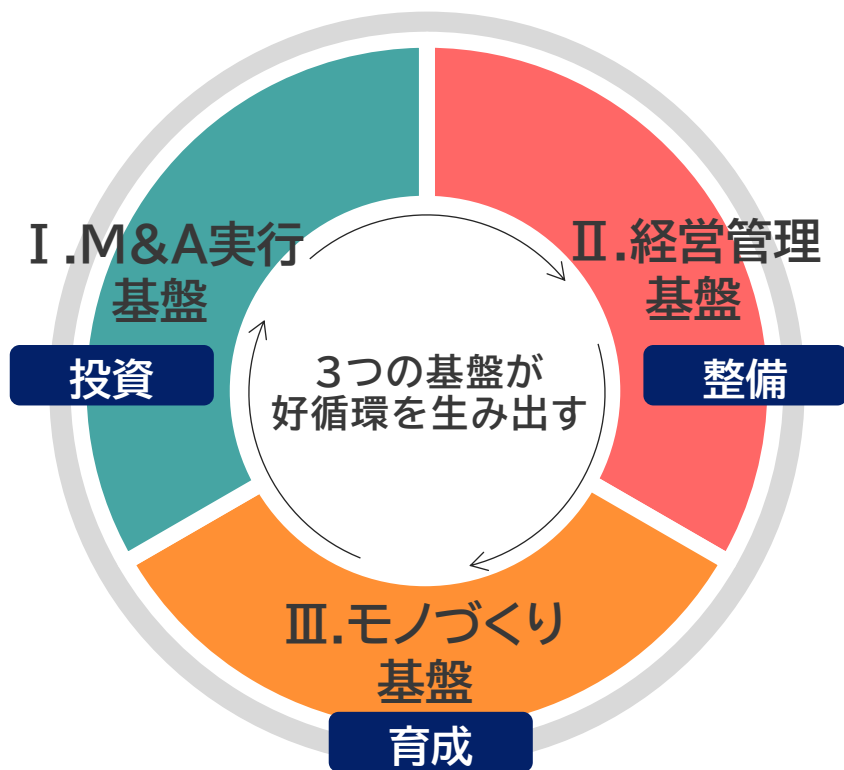
- 当社は、日本の中堅・中小製造業の課題を解決する事業承継のトータルソリューションカンパニー



当社は事業承継を総合的に解決するトータル・ソリューション・カンパニー

日本の中堅・中小企業が直面する課題解決に向けて、独自の「モノづくり事業承継プラットフォーム」を構築

モノづくり事業承継プラットフォーム



モノづくり事業承継における3つの基盤

I. M&A実行基盤 投資

「セレンディップ投資ポートフォリオ(SIP)」の方針に基づき
M&Aプロセス全体(M&Aチャネル開拓、M&A戦略立案/実行)の遂行

II. 経営管理基盤 整備

プロ経営者によるチーム経営、標準化されたマネジメントツール、業務シェアードによる
グループ一体となった「セレンディップ人材育成スタンダード(SHS)」を確立

III. モノづくり基盤 育成

標準化された「セレンディップ改善スタンダード(SKS)」を活用し、製造現場の変革を
推進、R&Dの強化、グローバル化を図る

フューチャーファクトリー構想

グループ会社一覧

モノづくり事業

国際競争力が高く、サプライチェーンが強固な分野

金属プレス加工



自動車
精密部品製造

※佐藤工業株式会社
と株式会社イワ中は、
2025年4月1日を
もって合併し、ユニク
レア株式会社として
スタートいたしました。

樹脂成型

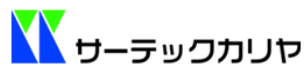


自動車
内外装部品製造



自動車部品ダクト等の
樹脂成型品の
開発・製造

めっき加工



New

自動車部品の
表面処理
グループ参画日
2025年7月

独自性があり高付加価値な領域

デザイン

Apex



Turning your ideas into reality.

開発段階における
試作品製作・デザイン

※株式会社トライシス
は、2025年10月1
日をもって株式会社
アペックスへ合併しま
した。

企画開発



ファクトリーオートメーション
装置製造

ビューティーテック



業務用美容器開発・
製造・販売

プロフェッショナル・ソリューション事業

モノづくり事業承継プラットフォームを強化する企業



プロ経営者派遣、
コンサルティング



設計・開発・ITエンジニア
派遣、ソフトウェア開発



協働ロボット販売・
レンタル

インベストメント事業

投資やフィナンシャル・アドバイザー



プリンシパル投資(自己資金投資)、
フィナンシャル・アドバイザー、ファンド運営

モノづくり基盤 | 製造現場の変革スタンダード

- 当社の製造現場の変革は、3つのステップで実現
- 品質向上・生産効率向上・IoT活用による省人化によって得られたリソースをR&D(研究開発)に集中投下

見える化を徹底し、「データを見て、ファクトで判断する」製造現場に



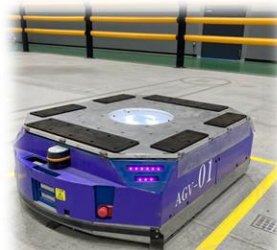
事例 | 徹底した省人化で生産性2倍を実現

- 2025年4月 三井屋工業株式会社(本社:愛知県豊田市)の東北工場を増床

三井屋工業 東北工場 環境保全推進賞知事受賞

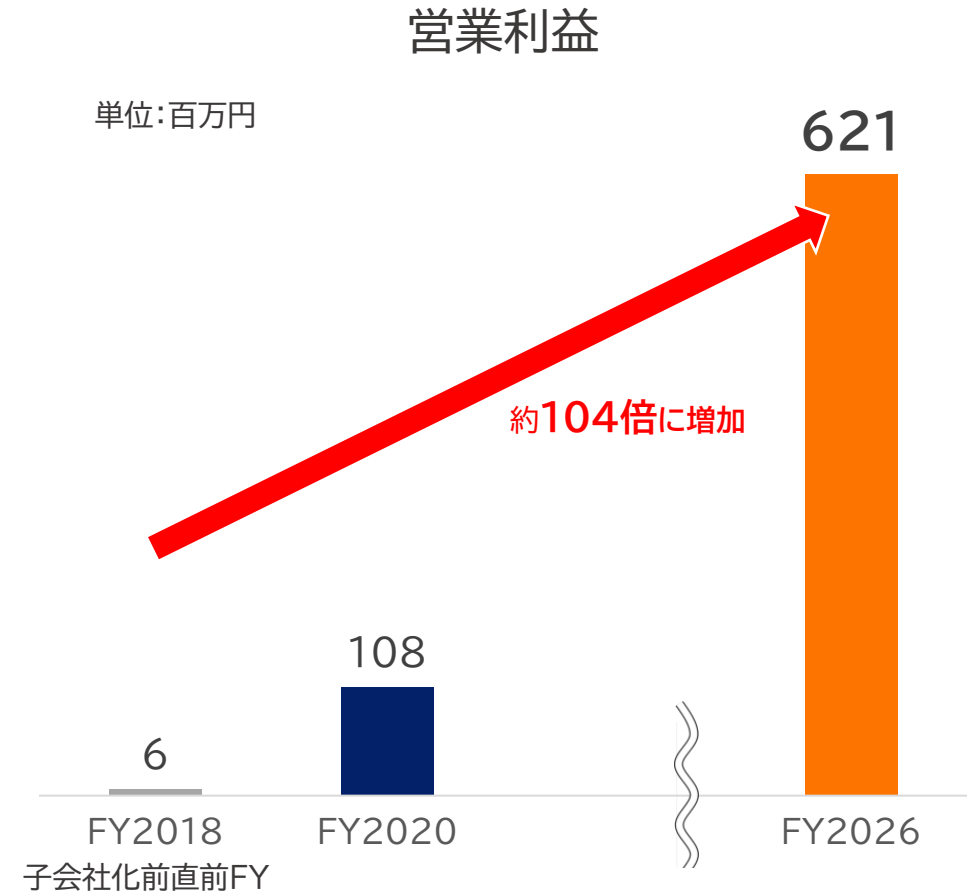
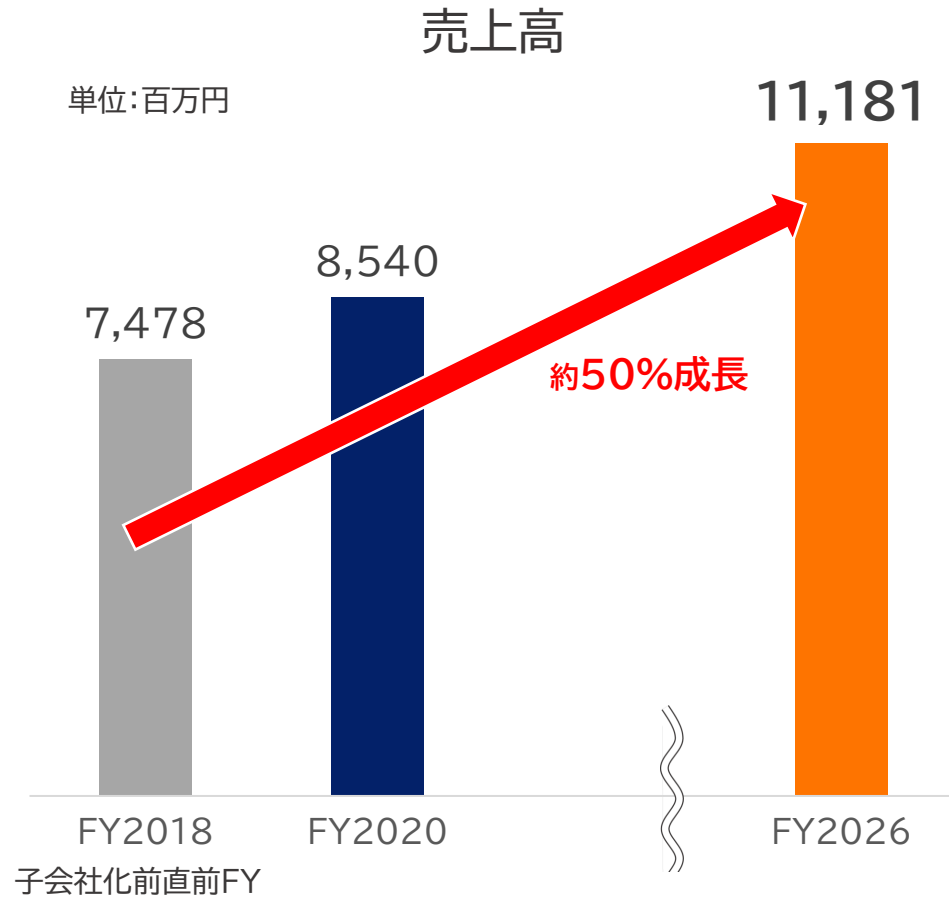
1. 労働生産性が、従来比100%向上
2. 発生品質不具合が、従来比90%削減
3. 生産設備の効率的な稼働により、
製品個当たり電力が、従来比40%改善
→CO2排出削減量 年間約595t

※2025年1月より東北工場で使用する電力を全てCO2フリー電源へ切替し、これによるCO2削減量が年間900tになる見通し



三井屋工業の実例 | M&A後のPMIによる売上・利益向上の実績

- PMIにより、営業利益は6百万円から600百万円超へと飛躍的に拡大



本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

Contact Us



<https://www.serendip-c.com/>



愛知県名古屋市中区錦 1-5-11
名古屋伊藤忠ビル

